

平成 17 年 3 月 2 日

サギタリウスチャレンジ結果報告書

## 世代をつなぐ幼大老ブリッジ ~ *thinking of 21* ~

### 1 年間の活動

7 月上旬 企画を細かく練る  
幼稚園、老人ホームに協力の依頼

7 月 30 日 京菓子作り体験（八つ橋）

「八つ橋庵」にて京都の伝統のお菓子である八つ橋作りを体験。八つ橋の由来についても学びました。お菓子作りのこの楽しさ、深さ、そして八つ橋の由来を子供たちにも伝えようと計画しておりましたが、都合があわず、残念ながら企画実行は断念されました。

9 月 14 日 上賀茂幼稚園訪問

三世代交流を行う際に使うお手玉作りや、飾り付けに使う折り紙のわっかの製作を行いました。お手玉は私たちが布を切って、一つ一つ丁寧に縫い、その中に子供たちに小豆を入れて閉じてもらい、150個のお手玉を完成させました。

9 月 17 日 老人ホームにて三世代交流

柘野特別養護老人ホームのデイサービスをご利用のお年寄りたちと、上賀茂幼稚園の子供たち、そして私たち葵寮生が、老人ホーム内のロビーをお借りして、三世代の交流をしました。最初には子供たちが一生懸命練習した歌を皆の前で披露し、その後グループに分かれて折り紙によるくす玉作り、そして幼稚園訪問の際に共同作業で仕上げたお手玉を用いて三世代が楽しく交流しました。

11 月 14 日 京菓子（練り菓子）・西陣織体験

八つ橋作りをした時と同じく、子供たちに伝統のお菓子を知ってもらうための企画のために第二回目の京菓子作りを「よし廣」、そして伝統工芸品である西陣織を「西陣織会館」で体験してきました。京菓子作りでは職人は男性が多いという観念が多い中、京都のお菓子職人が年に 1 人選ばれる賞に、この「よし廣」で練り菓子の作り方を教えていただいた女性の職人さんが選ばれました。

西陣織はやはり繊細なもので作るのも神経を研ぎ澄ませて真剣な表情で作りあげました。しかし、慣れてくると楽しいもので、好きな色の糸を使い、自分の力加減次第で出来上がりのサイズも変わってきました。完成させた西陣織は今回私たちの企画にご協力いただいた幼稚園と老人ホームの方にお礼の形として寄付したく思います。

## 12月 少子高齢化について考える

上賀茂幼稚園の保護者の方々に「少子高齢化」についてのアンケートにご協力をいただきました。質問もメンバー全員で考え、集計結果をもとに様々な考察を出し合いました。三世代交流への子供たちのご協力のお礼として、企画実行時に撮影した写真を差し上げました。

## 1月 子供たちに伝統を伝える企画を練る

子供たちと京菓子作りをしたり、八つ橋の由来の紙芝居をしたりして伝統を知ってもらおうという企画を当初から考えていたものの、大学生側の都合と幼稚園側の都合が合わず、企画を実行することはできませんでした。幼稚園の方々も企画の内容にはとても興味を持っていただけたのですが、私たちの企画実行のためにうつす行動が遅すぎたと反省しております。

## 3月 サギタリウスチャレンジ報告会 お礼

自分たちの1年間の企画、実行内容をプレゼン形式で発表いたします。

お世話になった幼稚園、老人ホームを訪問し、西陣織とお礼状を渡します。

ご協力いただいた方々

- ・ 上賀茂幼稚園
- ・ 柊野特別養護老人ホーム

## 感想

少子高齢化が深刻に進む中、子供たち、お年寄り、そして私たち大学生の三世代が交流しようという企画を考えて早1年近く。多くの人たちに出会い、交流することによってキャンパス内では決して学べないことがたくさんありました。子供たちの元気さに驚き、お年寄りたちの経験の深さに感銘し、保育士や介護福祉士の方々と話すたびに自分たちの知識の無さや考えの浅さを痛感し、伝統や職人技に触れることによって歴史の大事さを体感しました。そして何より人との交流がやはり一番大切なのだと皆が感じました。こんな時代だからこそ人との繋がりをより強くしないといけないときに、交流する時間が少しでもあるとやはり生活が違ふと思います。私たちが今回行った企画で少しでも何かを見つけてくれていたら本当にうれしいです。何より私たちがいろんなものを見つけることができたことがいい財産になりました。

1年間を通して様々な方々に本当にお世話になりました。飛び込みで電話をし、企画内容を説明、そしてアポを取る。この一連の流れが私たち葵寮生にとってはほとんど初めての事で緊張してとまどうばかりでした。それでも懸命に話す私たちの企画を時間を割いて真剣に聞いてくださった方全員に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

幼大老チームメンバー 京都産業大学 葵寮

内田貴子 小川慧子 河内紗愛 畑有紀

水野麻美 宮田育子 宮本和代 山本絵美